



[ボキシー]

簿記はやさしい、楽しい、そして美しい！

みなさんは経理の見習いさん。そして、目の前にはレシートや伝票の山。

みんなで、協力して簿記の知識をつかって整理しよう。

さあ、誰が最初に自分の伝票を片付けられるかな？

□対象年齢：12歳以上

□プレイ人数：2~6人

□プレイ時間：20分~

セット内容 〈カード 120枚〉

- 勘定科目カード 80枚
- 予備用カード 各6枚（計12枚）
- 説明書（本書）
- イベントカード 28枚
- プレイマット（紙）

ゲーム遊び方

一番早く手持ちの勘定科目カードを全部捨てた人が勝利です

ゲームの準備

①勘定科目カードと②イベントカードを次のように準備します。

【勘定科目カードの準備】

- ① 最初に親を決めて勘定科目カードをシャッフルします。
- ② 親は自分を含めた各プレイヤーに5枚ずつ勘定科目カードを伏せて（裏面にして）配ります。
- ③ 残りの勘定科目カードは、「引き札置き場」に伏せて積んでおきます。これが引きの山になります。
- ④ 親が「引き札置き場」の一番上のカードを1枚めぐり脇におきます。これが捨て札の山になります。そして、捨て札の山の一番上のカードを「場のカード」と呼びます。

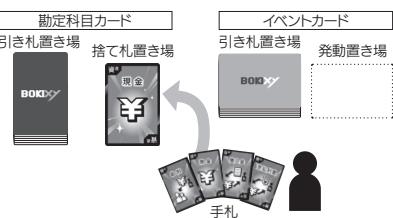
【イベント引き札置き場の準備】

- ⑤ 「勘定科目カード」とは別に「イベントカード」を「イベント引き札置き場」に伏せて積んでおきます。
- ⑥ 親の左隣の人が最初のプレイヤーです。時計回りに勘定科目カードを捨てていきます。



ゲームの進め方

- ① 順番になったら、「勘定科目カード」を1枚だけ「捨て札置き場」に何を捨てたか全員に見るように表を向けて捨てます。



勘定科目カードの捨て方は、次の2通りがあります。

勘定科目カードの捨て方パターン①
「同じ仕訳に出てくる勘定科目カード（仕訳コンボ）」

まず、「場のカード」の勘定科目を使った仕訳を考えて、その仕訳に出てくる勘定科目を1枚選んで捨てる方法があります。他の人から「どんな取引か?」と尋ねられて答えられなかった場合は捨てられません。また、この方法で捨てた場合、イベントカードを引くことができます。

なお、仕訳例は最後に掲載していますが、仕訳として適切か悩んだ場合は相談して判断しましょう。

(例) 現金を借り入れた。



仕訳コンボを出すと

- 「イベントカード」を1枚引くことができます。
- イベントカードを引いたとき、その場で効果を発動させるか、あとで発動させるために1枚だけキープすることができます。ただし、「バリア」の効果があるイベントカードは、キープ専用で、その場で効果を発動できないイベントカードです。
- 1枚キープしたイベントカードがある場合にイベントカードをさらに1枚引いて、手元のイベントカードが2枚になったときは、どちらか1枚のカードを強制的に発動させて捨てるか、発動させずに捨てる必要があります（例えば、バリアを2枚引いたとき）。
- 発生する効果などは「イベントカードの説明」をお読みください。
- イベントカードをキープした状態で手札の勘定科目カードがなくなつた場合もあがることができます。

勘定科目カードの捨て方パターン②

「同じ種類の勘定科目カード」

「仕訳」が思いつかない場合は、「場のカード」と同じ分類（資産・負債・純資産・収益・費用）の勘定科目を手札から選んで1枚捨てます。

（例）支払利息（費用）と同じ分類の給料（費用）を出す。



- ② 勘定科目カードを捨てられない場合は、「勘定科目引き札置き場」から1枚だけカードを引いて手元のカードにします。引いたカードを捨てられるときは、すぐに捨てるすることができます。まだ、順番は次の人に移りません（イベントカードを使うか、使わないと決めてから次の人の順番になります）。



● 引きの山がなくなった場合は、「場のカード」以外の捨て札の山をシャッフルして、新しい引きの山にします。

- 自分の手番の最中にイベントカードがある場合、イベントカードを発動させるか発動させないかを決めることができます。
- イベントカードの山がなくなった場合は、イベント引き札置き場から使用済みのイベントカードを集めて、シャッフルし「イベント引き札置き場」に新しく積みます。

あがり方

- 手持ちのカードが1枚になったときは、みんなに向かって「ボキシー」と宣言しましょう。
- 「ボキシー」と叫ぶのを忘れたら、次の人がカードを捨てるまでの間にそのことを指摘されたら、罰として勘定科目カードを2枚引きます。
- 最後の1枚のカードを捨てられた人から順に1位、2位、3位…となります。
- 残りの1人になった時点でゲーム終了です。最後に残った人は最下位となります。

